

## NPOの木質バイオマスへの取り組み

木質バイオマスは、地域で作られ、地域で消費される「**地産地消のエネルギー**」です。全国的に、地域独自の排出量取引、木質バイオマスエネルギー技術の利活用や取組みを構築、検討する自治体が増えています。

「木質バイオマス資源」を利活用し、魅力のあるまち、誇れるまちをつくるために当NPOでは昨年に引き続いて研究を進めます。

### ーバイオマスタウン構想を軸としたまちづくりのねらいー

#### ① 地球温暖化防止

「カーボンニュートラル」であるバイオマスの利活用は、地球温暖化の主要な要因である大気中のCO2等の増加を抑制します。

#### ② 循環型社会の形成

「使い捨て社会」から「資源が循環利用される社会」への移行を促進します。

#### ③ 戦略的産業の育成

バイオマスを利用した「新たな産業」や「新たな雇用」が生まれます。

#### ④ 農山漁村の活性化

従来の領域に加え、「エネルギーや素材の供給」という新たな役割が生まれます。



## 森を生かし収入を得る！！

現在山から収入を得る方法として「森を活かすビジネス」が注目されているのをご存じですか。みなさんがお持ちの山にはたくさんの資源が眠っています。たとえば「葉っぱビジネス」。これは徳島県上勝町の年輩の女性を中心に進められているもので、料理に添えられている山野の花、葉っぱ「つまもの」を上勝町では「彩」という商品名で全国に出荷しており、70代、80代のおばあちゃんたちが生きがいをもって事業にかかわっています。現在の年間の売上げは、2億円超の規模にまで成長しています。そんな中、**定年退職後Uターンを機に、所有する森林を見直し管理・経営を初める方もどんどん増えてきています。**今回は最近流行の森のビジネスを紹介します。



うらじろ(葉っぱビジネス)



もみじ(葉っぱビジネス)



笹の葉(葉っぱビジネス)



たらの芽栽培



キノコ栽培



ハチミツ採取



たけのこ栽培



薪のネット販売

昨今、「田舎暮らし」への関心が高まり、首都圏・関西圏におきましても多くの人達が地方へ移住・定住・Uターンを希望されています。

鳥取県は 鳥取県への移住を検討いただいている方のための最初の相談窓口として、鳥取県関西本部・東京本部に「鳥取県田舎暮らしコーディネーター」を配置しています。お気軽にご相談ください。

**関西圏の方** 鳥取県田舎暮らしコーディネーター 谷口 正芳  
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部  
電話 080-2916-5184

**関東圏の方** 鳥取県田舎暮らしコーディネーター 濟田 安司(さいだ やすし)  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 鳥取県東京本部  
電話 080-2929-9831

ご相談の際は、事前に連絡が必要です。(土日祝はお休みです) 受付時間:8時30分～17時15分